

9 月度 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">例会</span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">個人</span> 山行報告書		報告者	大矢康裕	参加 メンバー	CL:大矢
		報告日	10/10		
山 域	東北 安達太良山	山行日	19年 9月 18日 (水) ~		
山 名	安達太良山		19年 9月 20日 (金)		

山行目的	秋山山行と気象予報のトレーニング	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	------------------	--------------------

配布先  
集会:12  
山行: 1  
リーダー  
原紙: 集  
会担当者

強風で引き返す

ルート図 (地図を見て正確に)

2.5 万分の 1 地図: 安達太良山

9/18 曇 9:31 自宅発 14:38 岳温泉 ホテル泊  ( )は前夜の気象解析 9/19 8:00 岳温泉からタクシー 8:10 奥岳温泉登山口 8:20 荷物デポして出発 9:25-9:30 1270m くろがね小屋に行かず直登ルートに変更 曇時々晴 14℃ 微風 (曇時々晴 10℃ 5m/s)  10:35-10:40 1500m 曇時々晴 稜線はガス 少しずつ晴れてきた	11:10 稜線 曇時々晴 11℃ >10m/s (晴 7℃ 12m/s) 鉄山に向かうが息ができない強風と両側が落ちたザレ場のため撤退  11:50-12:15 安達太良山 最高点の乳首を往復 曇時々晴 8℃ 5-10m/s (晴 7℃ 12m/s) 下界は晴れているが日本海側から雲が流れてきて山の上は晴れない  13:25 薬師岳展望台  14:25 奥岳温泉 晴 18℃ 弱風 (晴 15℃ 弱風)
---	---

〈山行報告〉 9/18: 東海道新幹線では富士山は雲の中で、熱海付近で激しい雨。北海道の東に高気圧があり、そこから吹く北東気流の影響で東京は涼しい。東北新幹線で北上するに従って雨は止み曇り空。郡山で下車して昼食を取って予定より早く麓の岳温泉に向かう。ホテルで明日の安達太良山の気象の予想をすると、北海道だけでなくこちらも前線通過後の冬型気圧配置になって、天気は良いのだが稜線はかなり風が強そう。気を引き締めて就寝。

9/19: 6時半に起床、曇。8時にタクシーでホテル発。10分前で奥岳登山口に着いたが、ロープウェイ乗り場のロッカーは営業時間前のため使えず、余分な荷物をデポする場所探しで手間取り 8:20 発。8:35 左に安達太良山分岐(帰りはここから下山)。9:25-9:30R 勢至平手前の 1270m 14℃ だんだん晴れてきた 曇時々晴で少し風が強くなってきた(時々5m/s)。予定時間を少しオーバーしているため、くろがね小屋に行かずに尾根を直登するルートに変更。10:35-10:40 峰の辻の手前 1500m 稜線は少しガスっているが鉄山の岩壁が見えてきた。想像以上の火山地形。11:10 稜線に出る。10-15m/s 曇時々晴 11℃。鉄山に向かうも 10m/s 以上の強風で呼吸ができず、両側落ちているザレ場のため無理せず撤退。11:30 稜線発。11:50 安達太良山の標識。ここから最高点の乳首を往復。久しぶりのハシゴは少し緊張。曇時々晴。下界は晴れているのに稜線は雲が取れない。冬型気圧配置なので

日本海側から雲が流れてくる。大雪山は予想通り初雪らしい。5-10m/s 8℃。12:15 発。13:25 薬師岳展望台 「この上にあるのが本当の空」の標識。弱風 12℃。14:25 奥岳登山口に下山 晴 弱風 18℃。温泉とビールで疲れを癒して、そのまま石巻に向かう。途中、福島駅でお花を買う。

9/20: 石巻で日和幼稚園の慰霊碑に献花、女川でも慰霊碑に献花。ともにご遺族とは3年ぶりの再会。新たなエネルギーを頂いて東北を後にした。

〈リーダー所見〉 2017年の西穂山荘往復を除くと、二度目のキリマンジャロ以来、11年ぶりの山登りとなった。安達太良山の登山道は火山性のザレ、岩、粘土質の土などで歩きにくく、良い山行トレーニングになった。鉄山は強風のため撤退したが、山で出会った人の話だと日本海から風が抜けてくるため、ここは強風が吹くことが多いらしい。標高だけでない東北の山の良さが実感できたので、またいつか行きたい。



確認 (リーダー)  
大  
19/09/22  
矢  
  
作成 (報告者)  
大  
19/09/22  
矢